

ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) オンラインフォーラム2020

日時：2020年12月2日（水） - 3日（木）

会場：オンライン開催：5部構成

講演リソース・課題：NBRP34課題：

情報センター、GBIF日本ノード、GAIN、ABS対応、実験動物マウス、ラット、ニホンザル、ニワトリ・ウズラ、ネッタイツメガエル、ゼブラフィッシュ、メダカ、カタユウレイボヤ、ショウジョウバエ、カイコ、線虫、シロイヌナズナ等実験植物/植物培養細胞・遺伝子、イネ、コムギ、オオムギ、ミヤコグサ・ダイズ、トマト、広義キク属、アサガオ、藻類、ゾウリムシ、細胞性粘菌、一般微生物、酵母、原核生物（大腸菌・枯草菌）、病原真核微生物、病原細菌、ヒト臍帯血細胞、ヒト・動物細胞、遺伝子材料

○開催理由

コロナ禍でのNBRP事業の広報として、オンライン講演による広報が有効であると同時に、学会会場での限局した研究者だけでなく、企業関係者や一般の皆様にも活動内容を理解してもらう手段としても有効であると考え、開催を企画した。

同時に、講演内容は録画し、NBRP-HPなどで公開することで、より多くの研究者にも時期を問わず利活用促進へとつながる広報手段として活用することが目的である。

○結果

・参加者数

	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	計： 重複あり	計： 重複なし
登録者数*	45名	21名	15名	66名	38名	185名	131名
参加者数*	35名	16名	14名	49名	29名	143名	104名
平均滞時間*	56.6/70分	64.7/80分 10分延長含む	37.6/40分	70.0/80分	66.9/80分	-	-

*NBRP関係者（重複なし-48名）は除外

結果1：昨年度開催した第4期中間年度シンポジウム（分子生物学会年会内）の参加者約120名（NBRP関係者含む）と比べ、同等の参加者数となった。

・フォーラム事前登録時アンケート結果：総数131件（重複なし登録者）

登録者種別	登録者数	NBRP知らない	利用経験なし
民間企業関係者数 (製薬・研究機器・食品・農薬・人材派遣・)	32名	6/32名 (19%)	17/26名 (65%)
非営利機関の研究者 (教授・准教・助教・教諭)	61名	3/58名 (5%)	13/55名 (24%)
その他 (技師・事務・URA・ポスドク・学生)	38名	8/38名 *ポスドク・学生： 6名 (21%)	20名/30名 (67%)

利用者:内容内訳	提供	寄託	両方
	58名	4名	2名

結果2：

一般参加が可能であったせいか、民間企業の参加者が通常の学会展示にくらべて多く、利用経験率も低いことから、さらなるリソース利活用の余地が十分にあると考えられる。

非営利機関の研究者では、NBRP認知度はかなり高く、利用率も高い。開催告知方法（分子生物学会年会バナー、NBRP-HP、理研BRC-HPなど）と告知期間の短さ（11月初旬告知開始）により、分子生物学会及びNBRP利用者周辺以上の拡散が十分ではなかったことも一因と考えられる。